



令和3年

3月23日(火)

【No. 11】

それでは、前号に引き続き、今回も4名の仲間たちの、この一年を振り返っての作文を紹介します！



『一年生を振り返って』

ぼくは、一年間を振り返って成長したことがある。

一つ目は、時間のけじめだ。ぼくは、中学生の最初の方は、授業前の一分前着席があまり守れていなかったけど、クラスの中で時計を見た人が、一分前だよと声をかけてくれたりすることで、しだいに守れるようになってきた。

二つ目は、クラス・学年でのまとまりだ。入学したときは、クラスでのまとまりがまったくなく、特定の人としか話さない人が多かったけど、運動会や校外学習などの行事を行うことにより、クラスや学年との関わりが増えて、自然と団結力が強くなり、クラスでの交流が活発になっていると思いました。

ぼくは、「時間のけじめ」と「クラス・学年のまとまり」は、ぼく自身だけではなく、学年のみんなも成長したと思う。ぼくは、一年間を振り返り、この二つが成長したことだと思う。

D組

③「入学したての頃はまだバラバラだったこの学年も、1年をかけて段々とまとまってきました。今のクラスは替わってしまいますが、学年の絆はこれからも深めていけますね」

『一年間で変わったこと』

一年生も、もう終りに近づいてきて、自分はこの一年間で何が変化したのかを考える機会が多くなりました。私はいつも、小学校のときより楽しみが増えたなと感じています。部活が始まって友達が増えたり、もともと仲の良い先輩を通じて、他学年にも関わりをもてるようになりました。中学校に入学するときは、私の通っていた小学校からひばりが丘中学校にくる人が少なかったので、ちゃんと友達ができるか心配でした。だからこそ、今たくさんの仲の良い人ができて、楽しく生活できていることがとても嬉しいです。私にとっての楽しみというのは、友達と話したり遊んだりすることです。二年生になっても、その楽しさを忘れず、友達と楽しく学校生活を送っていきたいと思いました。

また、私はこの一年間で、嫌だなと感じることが減りました。今までは、スピーチや発表があると、学校に行きたくないと思っていたのですが、最近是人前に立つことに慣れようと、前向きな気持ちになることができます。小学校六年生の終りのころから、中学生になったら今までの自分と変わろうと決めていたので、それどおりに一年間を過ごせていて良かったと思いました。

このような出来事から、自分もやればできるものだなと自信がもてるようになりました。

C 組

- 「“自分を変える”ということは、なかなか簡単にはいかないものです。でも、なりたい自分というものがしっかりとあれば、少しずつでも変わっていけるものなのですね」

『私の三大ニュース』

第三位「定期テスト二週間前の勉強量が回数を重ねるごとに増えた」

中学生になって初めての定期テスト前の勉強時間は40時間だったが、回数を重ねるごとに勉強量が増え、学年末テストのときには70時間になった。勉強時間を増やしていくとテストの点数も上がり、自信もついた。ぼくは、ここから「勉強を頑張って良かった」と思うが、勉強を頑張っているのは二週間前からだけなので、いつも勉強できる習慣をつけたいと思った。

第二位「鳥が苦手になった」

中学校生活が始まって三日目の朝、友達Tさんと登校しているときに、鳥がぼくの肩にふんを落とした。ぼくは、その日から鳥が嫌いになり（食事のときは除く）、鳥と常にソーシャルディスタンスをとっていた。ぼくは、その日から鳥を好きだと思ったことはあまりない。

第一位「テニス部に入った」

ぼくは、小学校のときにサッカーをやっていたので、小学6年生のとき、「サッカー部に入るぞ」と思っていた。が、新しくテニスを始めてみようと思った。もし、サッカー部に入っても楽しかったと思う。が、テニス部に入っても後悔はない。なぜなら、コロナが流行し、部活の日数が少ない中でのテニスの練習は、練習日が少ない分、一日一日を必死に取り組むことができたからだ。

ぼくは、この一年間が小学生のときに比べて、自分の心や生活が大きく変わった一年間であったと思う。

B 組

- 「鳥のことはフウンでしたね…!?中学生になって新しいことに挑戦したのはとても良いことでした。4月からは後輩が入ってきますよ。先輩としての準備はOKですか？」

『一年生を振り返って』

私は、一年生の三学期になって思ったことがあります。それは、「努力」についてです。なぜ、「努力」に目を向けたのかというと、皆との勉強の差が出始めたからです。

小学生の時は、皆だいたい同じレベルだったが、中学生になると勉強の意識が高まっていき、皆にどんどん抜かされていくような気がしました。

私は、皆の「努力」に気づかされました。夢や将来に向かって「努力」しているんだと思いました。私も、勉強に関しては頑張って「努力」しようとしています、なかなか時間がとれなかったり、続かないことがあります。

時間では、私は習い事で平日も休日も予定がパンパンにうまっており、まともに勉強する時間がとれません。だからといって、この言い訳では済みません。

自分が好きでやっている習い事なので、習い事と勉強の両方を「努力」していきたいとします。そのためには、夜遅くに帰ってきたとしても、空いているスキ間時間を活用して、自分なりに工夫して学習時間をつくっていききたいと思います。平日は約一時間、休日は約四時間と、勉強する時間も目標を立てて頑張ります。

このことから、私は夢を叶えるために、一生懸命勉強を「努力」していこうと思います。今の自分に出来ること、それは「努力」です。

“まだ遅くない!!” “でも、今やらないと、手遅れになってしまう!!” と親に言われました。私も、まさにそうだと思います。

私の二年生の目標は、「努力し夢に向かう」です。あきらめて、そこで試合終了にならないよう、頑張ろうと思います。

A 糸目

- 「中学生になると、一人一人の意識がどんどん変わってきますね。時間は与えられるものではなく、自分で作り出すものです。“努力”の大切さを忘れないようにしましょう」